



2007年6月17日
第4号
発行
日本共産党
村山地区委員会
山形市小白川町
4-13-15

「業者婦人の健康守つて」 政務調査費の領収書添付を 県商連婦人が県に要望



五日、山形県商工団体連合会婦人部協議会（小関美津子会長）は、業者婦人の健康を守り、営業を続けられるように、県に要望書を提出し、日本共産党県議団も同席しました。

五日、山形県商工団体連合会婦人部協議会（小関美津子会長）は、業者婦人の健康を守り、営業を続けられるように、県に要望書を提出し、日本共産党県議団も同席しました。

融機関を指導する、国税の負担軽減など八項目となっています。

県側から産業政策課男女共同参画室など関係部署の課長らが対応しました。

参加者は、営業の厳しさもあいまつて業者婦人が休めないほど必死に働いている実態や、生活が困難で国保料が望書も提出しました。

また同日、県商連婦人部協議会は、阿部信夫県議会議長あてに、政務調査費の領収書添付義務付けを求める要望書も提出しました。

侵略戦争を正当化するアニメ誇りDVDを教育に持ち込むな



十二日、日本共産党山形県委員会、山形県議団、新日本婦人の会山形県本部、山形県母親連絡会は、山口常夫県教育長に対して、侵略戦争を正当化するアニメを教育に持ち込まないよう申し入れを行いました。

日本青年会議所作製のアニメ（DVD）を使う「近現代史教育プログラム」が中学校で行われていることが、国会で明らかになりました。このDVD「誇り」は侵略戦争を正当化するもので、伊吹文科相も「私が校長であれば使わない」と答弁しています。

山口教育長らは、県内の学校では、そういうDVD使用や計画は確認されていない。なお、慎重に対応していきたいと答えました。

懇談の中で、参加者は「DVDを見たが、戦争を美化する内容が子どもたちの心に入っていく恐ろしさを感じ

6月県議会日程

- 19日 開会・議案上程
- 22日・25日 一般質問
- 26日・27日 各常任委員会
- 28日 各特別委員会
- 29日・7月2日・3日 予算委員会質疑
- 7月4日 採決・閉会
- 7月2日に笹山一夫県議団長の質疑が予定されています。時間は13時20分頃からの予定です。

参院選勝利へ

今野市議 地域・後援会つどい

三日に日本共産党演説会が開かれ、六日には佐藤まさゆき参院選選挙区候補の事務所開きが行われました。この間、日本共産党後援会も地方選挙勝利を力に参院選も勝ち取ろうと多様な形で集いが計画・開催されています。九日には、今野誠一

参院選挙を来月に控えた六月は、連続的に大演説会が計画されています。三日の山形を皮切りに、茨城、岩手、秋田、北海道、この後、埼玉、栃木、宮城、福島、群馬、青森と続きます。

一つの演説会を成功させるためには、たくさんの方の手がかかります。会場を確保し、ポスターやチラシなどの宣伝物をつくり、宣伝カーをまわし、お誘いをしてたくさんの方を会場に足を運んでもらう。当日の設備や受付など要員の組織・・・こうした取り組みの積み重ねが、一

紙智子のかけあるき



「子どもたちの時に戦争を体験しているが、地域で子や孫に平和を語り継ぐ活動を地道に続けていきたい」などの思いを語りました。

つこの演説会を成功させるために努力されているだけに、「一回一回の訴えに心を込めて」と、力が入ります。演説会の合間に、仙台の都市近郊農家を訪問しました。「40年間やってきて、毎年毎年が一年生みたいなものだ。一度として同じ条件だったときはないし、そのつど真剣勝負」という農家のお母さんの言葉が印象に残りました。演説も同じだなと思いつつ、年金問題や自衛隊による国民監視など、次々に動く情勢に合わせて何を訴えるか考え、勝利に向けて全力をあげていきたい。

